

市民ワークショップ報告書

目次

1. 市民ワークショップの概要.....	1
2. 第1回市民ワークショップ意見まとめ.....	2
(1) 加茂市の強み・弱み.....	3
(2) 10年後の加茂市　こんな加茂市になってほしい.....	5
3. 第2回市民ワークショップ意見まとめ.....	7
[1] 「子育て」「福祉・健康」「生活・環境」が充実した加茂市になるためには、 どのような取り組みが必要か？.....	8
(1) 「子育て」.....	8
(2) 「福祉・健康」.....	10
(3) 「生活・環境」.....	13
[2] 「産業・雇用」「教育・文化」「協働・行政」が充実した加茂市になるためには、 どのような取り組みが必要か？.....	16
(1) 「産業・雇用」.....	16
(2) 「教育・文化」.....	18
(3) 「協働・行政」.....	20
4. 第3回市民ワークショップ意見まとめ.....	23
(1) 加茂市の出生率がなぜ低いのか？.....	24
(2) 加茂市の子育て・教育が他市町村の人から「いいね！」と言われるためには、 どうすれば良いか.....	27

この報告書は、加茂市総合計画策定にあたり、加茂市が令和2年9月、10月に開催した市民ワークショップについてまとめたものです。

1. 市民ワークショップの概要

目 的

「総合計画」を策定するにあたり、「どんなまちにしたいか」、「そのために必要な取組（市民と行政の役割）」について、行政と市民が一緒に考えて話し合い、その内容を計画づくりに活用するために市民ワークショップを開催したものです。

第1回

日 時：令和2年9月26日（土） 10：00～12：00

場 所：加茂市役所3階301会議室

参加者数：市民29人、市職員7人

テーマ1：『加茂市の強み・弱み』

テーマ2：『10年後の加茂市 こんな加茂市になってほしい』

第2回

日 時：令和2年10月10日（土） 10：00～12：00

場 所：加茂文化会館小ホール

参加者数：市民32人、市職員9人

テーマ1：『「子育て」、「福祉・健康」、「生活・環境」が充実した加茂市になるためには、どのような取り組みが必要か？』

テーマ2：『「産業・雇用」、「教育・文化」、「協働・行政」が充実した加茂市になるためには、どのような取り組みが必要か？』

第3回

日 時：令和2年10月24日（土） 10：00～12：00

場 所：加茂市役所3階301会議室

参加者数：市民21人、市職員7人

テーマ1：『加茂市の出生率がなぜ低いのか？』

テーマ2：『加茂市の子育て・教育が他市町村の人から「いいね!」と言われるためには、どうすれば良いか』

この市民ワークショップでの進行役、報告書のまとめについて、新潟大学鷺見英司准教授よりご協力をいただきました。

2. 第1回市民ワークショップ 意見まとめ

(1) 加茂市の強み・弱み

(良いところ)

【まち】

- ・ 「自然」：加茂山や加茂川が美しい、自然が豊かである、また、それらが駅からすぐの場所にある
- ・ 「市民」：市民の人間性が良い、近所付き合いが良い、市民が市政に意識を向け始めている

【子育て】

- ・ 「子育てサークル」：サークルを通じて他の人と出会える、悩みを相談できる

【教育・文化】

- ・ 「学校」：高校が3つ、大学が1つある
- ・ 「文化会館」：千人規模で収容でき、なおかつ設備が整った、県央では他にないような文化会館がある

【健康・福祉】

- ・ 「福祉の充実」：福祉が充実している、住民サービスが良い
- ・ 「コミュニティセンター」：コミュニティセンターが多く、利便性が高い

【産業】

- ・ 「店」：商店街が比較的残っている、外食する店が多い
- ・ 「桐たんす」：伝統工芸品である、有数の産地である

【まちづくり】

- ・ 「行事・イベント」：祭り、鯉のぼり、AKARIBA、ジンロック、加茂の多彩な行事に魅力を感じる
- ・ 「交通」：コンパクトで動きやすい、交通の便が良い、駐車場が充実している

【その他】

- ・ 市長が気さくである

(良くしたいところ)

【まち】

- ・ 「公共交通機関」：電車や新幹線の利用が不便
- ・ 「まちの活性化」：加茂は田舎でダサイ、人が少なく活気がない、交流を増やして活性化させたい

【子育て】

- ・ 「施設」：子供が遊べる施設・場所や、日曜や祝日も子供を預けられるところがほしい、ベビーカーで電車や駅が使いづらい、老朽化した保育所を良くしてほしい、市に産科がない

【教育・文化】

- ・ 「教育機関」：大学が少ない、小学校の統廃合を行ってほしい
- ・ 「施設」：図書館など勉強するところが少ない

【健康・福祉】

- ・ 「施設」：公共施設の老朽化、利用者が少ない、Wi-Fiの整備、集会場がない

【産業】

- ・ 「働く場所」：若者の仕事や働く場所がない
- ・ 「観光」：宿泊施設の充実、観光の活性化

【まちづくり】

- ・ 「自動車の利用」：駐車スペースの整備、一方通行が多く不便である、国道403号周辺の活性化
- ・ 「買い物」：大型店やスーパーを誘致する、商店街の活性化、ふらっと立ち寄れる店が少ない
- ・ 「余暇」：一年中楽しめるイベントや名所がない、休日に遊ぶ場所がない、学生が住みづらい

【その他】

- ・ 「市政」：市の収入が少なくお金がない、市民の意見が反映されていなかった、ボランティア活動を活発にする

(2) 10年後の加茂市 こんな加茂市になってほしい

【まち】

- ・ 「公園」：傾斜がなく子供や高齢者が利用しやすい公園にしてほしい、整備された公園がほしい
- ・ 「魅力的なスポット」：ここがあるから加茂市に来たいと思える場所や、迷わずあそこに行こうと思える場所があるまち、スポーツができる場所があるまち
- ・ 「市民間のコミュニケーション」：子供や若者、高齢者といった、世代を超えたコミュニケーションが盛んなまち、人とのコミュニケーションを大切にすまち

【子育て】

- ・ 「子どもの増加」：子供が外で遊びまわっているまち、子供が増えて賑やかなまち

【教育・文化】

- ・ 「小中学校」：学校を統廃合して新しくきれいな校舎にしてほしい、合唱団や吹奏楽に良い指導者をつけてほしい

【健康・福祉】

- ・ 「高齢者」：高齢者の一人暮らしが増える中で、困ったところにすぐ対応できるまち、EC サイトなどが取り入れられる時代に高齢者が取り残されないまち、高齢者がいきいきと安心して暮らせるまち
- ・ 「健康」：子供からお年寄りまで健康で暮らせるまち、健康づくりに力をいれているまち、ウォーキングの推進に取り組むまち

【産業】

- ・ 「産業の活性化」：企業を継承してほしい、企業を誘致してほしい、若い人が起業しやすいまち、若い人が働きやすいまち
- ・ 「農業」：桃、ル・レクチェ、七谷の米など農業が盛んなまち
- ・ 「観光・交流」：インスタ映えするスポットやモニュメントがあるまち、加茂山・冬鳥越を活かして観光や交流が盛んなまち、市外からも遊びや買い物に人が来てくれるまち
- ・ 「店」：若者向けのカフェ、高校生向けの店（食品・服飾）があると良い、商店街に店や人がたくさんあってほしい、大型店がほしい、買い物が楽にできるようになってほしい

【まちづくり】

- ・ 「住みたくなるまち」：子育て世代の若者が住みたくなるまち、旅行に来た人が住みたくなるまち、元から住んでいる人がずっと住みたいと思えるまち
- ・ 「住みやすいまち」：若者が住みやすいまち、学生から高齢者まで一人暮らしがしやすいまち、空き家を有効活用してほしい
- ・ 「小京都」：「小京都 加茂」とは何かを答えられる人や、それについて語る人がたくさんいるようになってほしい、神社・山・川・商店街を活かして素敵な小京都をつくってほしい
- ・ 「行政運営」：市民が市政に意見を反映させやすいまち、市民がボランティアに積極的に参加する手作りのまち、市民が市政に参加できるまち、市政と市民の風通しが良いまち、費用対効果を意識したまち、科学的な根拠に基づく事業評価をするまち

【その他】

- ・ 「市職員・市議会議員」：市職員を減らして民間企業で研修させる、市議会議員を減らす

3. 第2回市民ワークショップ 意見まとめ

[1]「子育て」「福祉・健康」「生活・環境」が充実した加茂市になるためには、どのような取り組みが必要か？

(1)「子育て」

①満足していること

【施設】

- ・ 「保育園」：保育園の数が多く充実している、待機児童が少なく入園の希望がかないやすい
- ・ 「遊び場」：遊び場が多いこと、特に自然の遊び場が多い

【サービス】

- ・ 「保育園」：保育士と子供との関わりが密接であること、保育時間の延長
- ・ 「スクールバス」：スクールバスが導入されていて、充実していること

【医療】

- ・ 子供への医療費助成が他市と比べ充実していること

【子育てサークル】

- ・ サークルがあること、それにより親同士のつながりが生まれること

【その他】

- ・ 「共働き」：保育時間の延長、児童館など、両親が土日休みであれば共働き可能な環境であること
- ・ 「イベント」：雪椿まつりなど子供が参加できるイベントがあること

②不満なこと

【施設】

- ・ 「保育園」：老朽化が進んでいる、駐車場が少ない
- ・ 「公園」：公園の老朽化が進んでいること、柵が危険な公園があること、整備が必要な公園があること
- ・ 「遊び場」：老朽化が進んでいる、草だらけで整備が必要なところがある。また、遊び場が少ないし遠い、大型の遊び場がほしい、安心して子供が遊べる場所がない

【サービス】

- ・ スクールバスを利用すると児童が歩かなくなる

【医療】

- ・ 「産科」：産科がないこと、産科医師がいないこと
- ・ 「小児科」：小児科や病院が少なく混んでしまう

【子育てサークル】

- ・ 子育てサークルに助成金がほしい

【情報発信】

- ・ 「発信不足」：子育てに関する情報がわからない、子育てについてどこに相談してよいかわからない、子育てサークルが周知されていない、市とサークルの子育て情報がそれぞれ別に出てくる。

【その他】

- ・ 「少子化」：子供が少なくなっているため、学業、部活動において競争力が弱くなっている、中学校に子供が少なく部活動でチームが組めない

③重要なもの

【施設】

- ・ 「遊び場」：子供を安心して遊ばせられる大きな公園や室内の遊び場がほしい
- ・ 「集いの場」：子育てサークルなど、親・子供が集える場所がほしい
- ・ 「学校の統廃合」：子供が減っているので学校を統廃合するべき

【サービス】

- ・ 「子育て支援」：子育て世帯に対する金銭的な支援や、発達障害児等支援が必要な子供達へ、保育園・学校・市が連携した包括的な支援が必要である

【医療】

- ・ 子供の医療費がかからないよう、市の充実した助成が重要

【情報発信】

- ・ 子育てサークル、支援制度など子育てに関する情報発信をする

【その他】

- ・ 「子育て全般」：子育て経験者がアドバイスをできるような仕組みづくり、保育士の数を減らさない

④市民ができること

【施設】

- ・ 市民ボランティアによる公園などの維持管理

【子育てサークル】

- ・ 子育てサークルの設立・運営や支援

【情報発信】

- ・ 市民も情報発信ができる掲示板のようなものがほしい

【その他】

- ・ 近所の人同士が助け合い、コミュニケーションを深める、学生・高校生を巻き込んだボランティア活動を行う

(2)「福祉・健康」

①満足していること

【介護】

- ・ 「平成園」：市営である平成園があり、お金の面では助かっている
- ・ 「ヘルパー」：ホームヘルパーが充実している、介護サービスのヘルパー無料に満足している

【高齢者】

- ・ 「高齢者福祉施設」：施設が複数あることや、建物がきれいなこと

【医療】

- ・ 「病院」：加茂病院が存続していること、入院できる病院があること
- ・ 「医師」：往診してくれる先生がいる、休日当番医がいる、医師が多い
- ・ 「医療費」：医療費が安い、0歳児は医療費無料などの医療費助成がよい

【健康】

- ・ 「ウォーキング」：ウォーキングできるような広い道やきれいな商店街があること、健康ウォークがあること
- ・ 「体育施設」：各地域に体育館や運動スペースがあること、プールや陸上競技場があること
- ・ 「検診」：市の検診が定期的にあること、検診が充実していること

②不満なこと

【介護】

- ・ 当事者しか分かり合えないことが多い、どの介護サービスを受けられるのかわかりづらい

【高齢者】

- ・ 高齢者と若者の交流が乏しい

【障害者】

- ・ 障害者福祉についての理解が足りない、車いすでの移動が大変そう、障害のある子供の療育について、もっと市の方で広報をしてほしい

【医療】

- ・ 「産科」：産科がない、近くで出産ができない
- ・ 「病院」：加茂病院の対応に不満を感じる、加茂病院に産科がない、安心してかかる病院がない

【健康】

- ・ 「施設」：スポーツ施設が多いが古い、体育館を使おうと思ってもすでに各団体が予約を入れている、若い人が行きやすいジムのような運動施設がない
- ・ 「健康イベント」：市／住民主催の運動教室が少ない、健康ポイント事業の特典がもっと充実するとよい、広報で健康イベントをもっと取り上げてほしい

【共生】

- ・ 「地域のコミュニケーション」：あいさつがなくなった、井戸端会議がなくなった、コミュニケーションの場が少ない

【その他】

- ・ 加茂山公園のトイレが使いづらい、加茂駅が使いづらい

③重要なもの

【介護】

- ・ 福祉に関して分かりやすく、利用しやすくしておく

【高齢者】

- ・ 増える高齢者への福祉、高齢者が仕事できて経済活動に参加できること

【障害者】

- ・ 障害者との共生、多目的トイレをもう少し増やす

【医療】

- ・ 子供の医療費を低いままに保つ、加茂病院を利用しやすく、活用できるようにする

【健康】

- ・ 「健康イベント」：健康教室・料理教室といったイベントを定期的を開催すること、市民参加者を増やしイメージづけること
- ・ 体育施設を存続させる

【その他】

- ・ 市民一人一人が大切に思われることが重要

④市民ができること

【高齢者】

- ・ 高齢者の見守りをする、高齢者が一人でも安心できる環境をつくるのが重要

【障害者】

- ・ 障害者の見守り

【医療】

- ・ なるべく医者にかからないようにする、市内の病院をかかりつけにする

【健康】

- ・ 「自己の健康管理」：一人一人が健康に関心を持つ、運動や栄養の改善に前向きに取り組む
- ・ 「健康づくりの場」：周囲の人と運動や散歩などに取り組める場をつくる、健康維持の市民活動を進める、健康意識を高めるきっかけづくりを行う

【共生】

- ・ 町内会を充実させ、皆で何ができるかを考える、手助けの声掛けを行う

【その他】

- ・ 加茂のことを知ること

(3) 「生活・環境」

①満足していること

【自然環境】

- ・ 山や川があるところ、自然が豊かな公園があるところ。町並みや景色を楽しむことができ、自然に触れることができている。

【防災】

- ・ ハザードマップを配布していること、加茂川に堤防があり水害対策がなされていること

【防犯】

- ・ 犯罪が少なく安心して住める

【交通】

- ・ 「道路」：さほど道が渋滞していない、新しくできた道が広くて通行しやすい、除雪が行き届いている
- ・ 「公共交通」：市民バスが充実している、加茂駅の出入り口がどちら側からでも行けるので便利であると

【ゴミ】

- ・ ゴミの収集がよい、ゴミの分別が非常に楽である

【生活環境】

- ・ 「水道」：加茂市に来てから水道料金が変わっていないのがありがたい、水道水が美味しい、水が安定供給されている

【その他】

- ・ 野菜の値段が安い

②不満なこと

【自然環境】

- ・ 桜の木、樹木の管理を行政にしてほしい

【防災】

- ・ 災害時の避難場所や持ち物がわからない

【交通】

- ・ 「除雪」：大雪の際の住宅街の除雪が不十分である、消雪パイプがない住宅地がある
- ・ 「道路」：一方通行がわかりづらい、安全な歩道が少ない、歩道がデコボコでベビーカーを押しづらいところがある、歩道に雑草が多いところがある
- ・ 「アクセス」：新幹線や高速道路へのアクセスが非常に悪い、公共交通機関が少なく、自家用車がないと不便である。また、現在進んでいる新 403 号道路工事について、数年後道路が完成した際のストロー効果が危惧される

【ゴミ】

- ・ ゴミが田んぼの脇に捨てられていることがある、ゴミの分別がなく、CO2 の排出について不安がある、ゴミが多い

【生活環境】

- ・ 「施設」：体育施設が古すぎる、公園の遊具が古くなっている、満足いく医療機関が少ない

【その他】

- ・ 街歩きマップについて、もっと魅力あるコースを設定したほうがよい、自然やイベントなど観光資源は多いが PR が足りていない

③重要なもの

【自然環境】

- ・ 町がきれいであること、自然環境と生活のしやすさを両立できること

【防犯】

- ・ 治安の良さ

【交通】

- ・ 市民バスの充実、道の広さ

【ゴミ】

- ・ ゴミの分別、ゴミの処理

【生活環境】

- ・ 子育て環境を整備すること、公園の遊具の管理をすること、歩ける範囲で生活できるようにする、生活圏内に魅力的な勤務先があるようにすること

④市民ができること

【自然環境】

- ・ 雑草の処理を市民ボランティアで行う、桜の木や街路樹の管理を住民や企業で行う

【ゴミ】

- ・ ゴミを減らす努力をする、ごみのポイ捨てをしない

【生活環境】

- ・ 車を運転しない生活を考える

【その他】

- ・ 市外の人への口コミなどでイベントへの参加を促す

[2]「産業・雇用」「教育・文化」「協働・行政」が充実した加茂市になるためには、どのような取り組みが必要か？

(1)「産業・雇用」

①満足していること

【産業・農林業】

- ・ ル・レクチエ、桃、桐たんす、米などの特産品がある、農業支援が充実している

【観光】

- ・ 「イベント」：まつりやAKARIBAといったイベントがある、イベントの数が多い
- ・ 「自然」：粟ヶ岳や加茂山といった、登山やキャンプで自然を楽しめる観光スポットがある

【中心市街地】

- ・ アーケードがあり、冬も歩きやすい

②不満なこと

【産業・農林業】

- ・ 「店」：ファストフード店が少ない、辞める店が多い、お店ができてはなかなか続かないのでバックアップが必要ではないか
- ・ 「雇用」：学生のアルバイト先や若者が働く先が少ない
- ・ 「イベント」：イベントの際に出店をするなど産業とイベントをうまく結びつけていない

【観光】

- ・ 観光施設が少ない、イベントが少ない

【中心市街地】

- ・ 商店街に人や店が少なくなっている、ショッピングセンターがほしい、若者が来そうな店を出してほしい

【その他】

- ・ 生活圏内に良い勤務先がない、アクセスが悪い

③重要なもの

【産業・農林業】

- ・ 「農業」：農業関係に力を入れてほしい、農業の担い手の育成に取り組んでほしい
- ・ 「企業誘致」：企業誘致を行ってほしい、誘致により雇用をつくってほしい
- ・ 「起業支援」：店を出したい人に対して積極的に呼びかけを行い支援してほしい、起業を増やして市場を活性化してほしい

【観光】

- ・ 冬鳥越、加茂山を利用した観光への取り組み

【中心市街地】

- ・ 商店街から地域経済振興へ、チャレンジショップなどを利用し、若者が自由に店を出せるようにする

【その他】

- ・ 「PR」：もっと加茂をPRする、PR方法を検討する
- ・ 「独自性」：他にはないものをつくる、加茂独自のものをつくる

④市民ができること

【産業・農林業】

- ・ サル対策、地域の草刈り

【観光】

- ・ 観光を充実させること

【中心市街地】

- ・ 商店街同士や店同士の支え合い

【その他】

- ・ 「地産地消」：地元の物を使う、地元の物を買う、地域の店を使う
- ・ 「市外へのアピール」：加茂の魅力や良さを市外の人へ発信する
- ・ 「若者」：若者に役割を押し付けない、若者の新しい発想を受け入れる

(2)「教育・文化」

①満足していること

【学校】

- ・ 高校・短大・大学が市の規模の割に多い、小学校が多い、安心して学校に通える

【芸術】

- ・ 「施設」：加茂文化会館がある
- ・ 「イベント」：県展がある、市民が発表を行える場がある、勤労青少年ホームで市の無料講座がある

【スポーツ】

- ・ 「施設」：体育館が多い、体操トレーニングセンターがある、グラウンドが多い、プールがありスポーツ環境が良い

②不満なこと

【学校】

- ・ 「校舎」：学校施設が古い、校舎の耐震性に不満がある
- ・ 「少人数化」：クラスの人数が少ない、部活動のチームが組めないほど人数が少ない
- ・ 「教育環境」：学校の仕事が多く先生が足りていない、IT環境が遅れている

【スポーツ】

- ・ スポーツサークルが少ない、スポーツ施設が老朽化している

【芸術】

- ・ 「イベント」：音楽等の芸術に触れられる機会が少ない、市展ではなく祭のような文化芸術イベントがほしい、絵本の原画展がない、子供の発表の場が少ない

【加茂学】

- ・ 加茂のことを知らない人が多い、加茂のことを教えられていない、加茂のことを学ぶ機会が少ない、加茂の歴史や文化を知る場がない（知らない）

【その他】

- ・ 生涯教育を行う場が少ない

③重要なもの

【学校】

- ・ 教員の公募制

【芸術】

- ・ 文化会館の維持、文化芸術のイベント

【加茂学】

- ・ 子供達への加茂に関する教育、加茂について学ぶ、「加茂学」を行って加茂に親しみをもつ機会をつくりたい、子供たちに加茂のことを教えられるようにしたい

④市民ができること

【学校】

- ・ 学校支援ボランティアに参加し、学習や生活の指導を行う

【芸術】

- ・ イベントに積極的に参加する

【スポーツ】

- ・ イベントに積極的に参加する

【民間教育】

- ・ 加茂の中で教育が完結しているのでは、様々な価値観に触れる機会をつくる、市外から来ている大学生などの交流の場をつくる、学校に子供が少ないので、他校を含めた子供たち同士の交流の場をふやす

【その他】

- ・ 子供が少なく、学校のクラブが成り立たない状況になっているので、新たにクラブをつくる、市民との協働によるイベントの開催、大学と協力をする

(3)「協働・行政」

①満足していること

【市民参加】

- ・ 市民の意見が届けやすくなった、ワークショップのように市民が行政に参加しやすくなった、イベントへの市民参加がしやすい

【公共施設】

- ・ 観光施設が多い、スポーツ施設の使用料が安い、コミュニティセンターやスポーツ施設が多い

【広報】

- ・ 広報誌やホームページが読みたいものになった、広報誌が見やすいものになった、広報で財政状況や行政の方向性がわかるようになった

【行財政】

- ・ ゴミの分別など良くも悪くも楽に住めている、給付金や補助金など市民を支える対策も多い

②不満なこと

【市民参加】

- ・ 市民活動をあまり聞かない、市民活動をしていてもそれを発信する場がない、市民・ボランティア・行政と一緒に考え、作り上げるイベントや活動ができていない

【ボランティア】

- ・ ボランティア活動についての情報が少ない、ボランティア活動が活発に行われていない、ボランティア団体のPRできる場や情報が少ない

【公共施設】

- ・ コミセンが時間等使いづらくなった、公共施設の設備をよくする、老朽化している建物の建て直しをする

【広報】

- ・ 「市のホームページ」：ホームページが古い・魅力がない、WEBでの広報が少ない、お堅いイメージが良いが古くて見づらい
- ・ 「市のPR」：市外への発信をしてほしい、PRが足りない

③重要なもの

【市民参加】

- ・ 市民が市民で市民と市民の活動をする、若い人も参加して強みを生かす

【公共施設】

- ・ 各種施設の民営化、競争によるサービスの向上、雇用の増加施設のコストカット

【広報】

- ・ 「市内の広報」：市の状態と市民の今の状態をお互いに知る、市民協働とは何かについての広報活動をする
- ・ 「市外への広報」：ホームページをはじめインターネットで観光客を呼べるようにする
- ・ 加茂市の情報発信ポータルサイトをつくる

【行政・財政】

- ・ 「行政体制」：市役所にIoT担当を置く、一人多役で市役所のコンパクト化を図る
- ・ 「行政サービス」：行政のオンライン化、行政110番、ゴミのリサイクル

④市民ができること

【市民参加】

- ・ 「市民同士の協働」：町内のコミュニケーションを多くとる、他人の関心に関心を持って協力していく
- ・ 「市民と行政の協働」：今まで市がやっていた事で市民がやれる事は市民の手を借り、市は自分たちしかできないことに力を注ぐ、不満があるならもっと市民1人1人が意見を言う

【ボランティア】

- ・ 雪椿やAKARIBAなどボランティア数が足りていないと感じるので市民が積極的に参加する

【広報】

- ・ 口コミなどにより加茂をもっと宣伝する

【その他】

- ・ 市の負担を減らすよう健康に安全に過ごす、加茂の強みを十分に理解し大切にしてい

4. 第3回市民ワークショップ 意見まとめ

(1) 加茂市の出生率がなぜ低いのか？

結婚

A：(20代で結婚は難しいので) 30代で「未婚→結婚」を増やすには？

重要なこと（取り組むべきこと）

【出会いの場】

- ・ 「イベント」：街コン、市主催の飲み会
- ・ 「団体」：出会いの場となるサークル活動、クラブ活動
- ・ 「スポット」：若い人が集まる場所、アウトドアでの出会い、憩いの場

【仕事】

- ・ 「職場」：市内に職場が必要、市外に働きに出ないよう市内の企業の増加
- ・ 「収入」：安定した経済状況、男性（あるいはふたり）の収入

【意識】

- ・ 「自己意識」：自信をつける、男性がもう少し積極的になる
- ・ 「結婚に対する意識」：結婚・出産による社会貢献について積極的に考える、結婚すると人生にプラスであるというイメージを強調する

【人】

- ・ 昔のような世話好きの人が必要、お見合いを進めるおばちゃん存在、おせっかいおばさんの活用（情報網など）

【教育】

- ・ 高齢になるほど出産が困難になるといった出産に関する性教育

【支援】

- ・ 「イメージづくり」：結婚することの具体的なイメージを持てるような援助
- ・ 「施設・支援金」：結婚相談所、祝い金

B：(20代での結婚が理想なら) 20代で「未婚→結婚」を増やすには？

重要なこと（取り組むべきこと）

【出会いの場】

- ・ 企業同士での交流、パソコン・スマホを活用した出会いの後押し、若者が好むスポーツクラブ

【住宅】

- ・ 「住みやすい住宅」：安い住宅を提供する、複数人で住める広い家が必要
- ・ 「支援金」：リフォームや家賃に掛かるお金を市が負担する、若い世帯の住居費を市が負担する

【仕事】

- ・ 仕事の負担を軽減する

【意識】

- ・ 「まだ若いから趣味に没頭しよう」という意識を変える

【その他】

- ・ 結婚後の充実した生活モデルを提示してアピールする

出産

A：30代で「既婚者→出産」を増やすには？1人目を産みやすくするには？

重要なこと（取り組むべきこと）

【産科】

- ・ 産科をつくる、産科を増設する

【職場】

- ・ 産休・育休への職場の理解、企業内に保育所をつくる、勤務先の出産への意識を変える

【保育環境】

- ・ 「保育所」：未満児の保育園、土日でも預かってくれる所、ベビーシッター等ふらっと預けられる場があるとよい
- ・ 「保育料」：保育料を安くする

【支援】

- ・ 「出産」：不妊治療の補助、出産に対する市の特別補助金制度設立
- ・ 「育児」：男性の育児休暇取得支援、ファミリーサポートセンター、出産してからの父母のコミュニティ
- ・ 「教育」：教育資金の補助・低減

【意識】

- ・ 子どもは良いというイメージをつくる、出産に対する不安の払拭、出産・子育てに興味を持たせる

【その他】

- ・ 実家のフォロー、夫婦ふたりの時間をつくる、家庭・地域の協力

B：2人目、3人目を産みやすくするには？

重要なこと（取り組むべきこと）

【職場】

- ・ 「収入」：互いに安定した収入があること、雇用が安定していること
- ・ 「職場環境」：産休・育休への理解がある職場、早く帰宅できるような職場

【保育環境】

- ・ 「保育時間」：保育時間を長くする、長期保育の設定
- ・ 「保育料」：2人目、3人目の保育料を安くする

【支援】

- ・ 「出産」：出産補助金、2人目は～円、3人目は～円と祝い金を出す、2人目以降の出産に対するインセンティブ
- ・ 「育児」：子どもの助成金をさらに多くする、女性が働かなくてもよいくらいの助成金

【その他】

- ・ 「施設」：就学後も預けられる児童館、NICUのある病院、雨の日も遊べる場所
- ・ 「政策」：子育てのまちというイメージ戦略、近所が子どもを見守る制度づくり

(2) 加茂市の子育て・教育が他市町村の人から「いいね！」 と言われるためには、どうすれば良いか

子育て

A：安心して乳幼児の子育てができるようにするためには？

①重要なこと（取り組むべきこと）

【職場】

- ・ 「働き方」：待機児童がないメリットを生かしたテレワークの誘致、多様な働き方
- ・ 「職場環境」：病気になっても休みやすい職場環境、企業への補助金

【保育】

- ・ 「保育時間」：時間外保育の延長、早期、夜間、休日の保育充実

【医療】

- ・ 病気やけがの小児救急医療、夜間・休日医療体制の充実

【地域】

- ・ 「地域の人」：近所付き合い、子育て中の家庭を孤立させないこと、地域での見守り

【遊びの場】

- ・ 「設備」：公園等の遊び場、親子で集まれる施設の充実
- ・ 「イベント」：地域の人が集まれるイベント

【相談の場】

- ・ 「子育て経験者」：先輩ママさん等に相談できる場所、子育て経験者の話を聞ける場所

【その他】

- ・ 子育ては社会貢献であるという意識

②市民ができること

【職場】

- ・ 「子育て世代への配慮」：同僚が気軽に休める気配り、職場にいる子育て世代への声掛けやフォロー、周囲の理解

【サークル】

- ・ 「子育てサークル」：町内ごとに子育てサークル、ママさんサークルで近所のママさんたちとの交流

【地域】

- ・ 「子どもとのふれあい」：子どもに笑顔で元気であいさつする、店や町であったときの声かけ
- ・ 「親とのふれあい」：親同士（子どもも）仲良くなれる取り組み、お母さんお父さんを支援するという市民みんなの意思表示、子育てに自信が持てるように勇気づける
- ・ 「子どもの見守り」：地域の宝として子どもたちをみんなで見守る姿勢、地域の人たちによる子どもの適度な見守り

B：安心して小中学生を育てることができるようには？

①重要なこと（取り組むべきこと）

【学校】

- ・ 「学習環境」：1人1人にPCやタブレット端末を配る、リモート授業など不登校の子どもの学習サポート、少人数学級で目の行き届いた教育、担任を選択できるようにする
- ・ 「部活動」：学校を統合し部活動を充実させる、スクールバスを活用し中学の部活動を一緒に行う、部活動を学校単位から種目別に一元化する

【交流】

- ・ 「学校外との交流」：ものづくり教室を開く、異年齢交流で学べる場を多くする、他校との交流

【施設】

- ・ 「遊び場」：子どもたちが外で遊ばないので各地域での遊び場をつくる
- ・ 「児童館」：多くの児童館をつくる、利用可能時間を長くとる
- ・ 「施設の統合」：文化施設・公民館の選択と集中を行い、残した施設にお金をかける

【支援】

- ・ 「いじめ支援」：学校内外でのいじめの根絶に向けた支援
- ・ 「相談できる環境整備」：思春期の子どもたちが相談できる窓口、SNS や電話で小中学生が悩み相談できる場
- ・ 「学習支援」：公営塾などによる宿題サポート

②市民ができること

【学校】

- ・ 「学習」：ボランティアによる授業・学習のサポート、寺子屋の新設（お年寄りの活用）
- ・ 「部活動」：部活動ボランティアを導入し、先生は本業に集中、部活動の送り迎えの支援
- ・ 「登下校」：登下校の見守りの充実

【交流】

- ・ 「保護者同士の交流」：他校の保護者との交流を深めることで他校の環境や取り組みについて知ることができる、ママ友・パパ友をつくる
- ・ 「子どもとの交流」：小中学生と地域の人との顔合わせ、何かの時に近所の子どもを預かれるようにする
- ・ 「学校外との交流」：校外学習、体験の場の提供

【支援】

- ・ 「いじめ支援」：いじめなどがないように仲良くする場づくり（部活、趣味、サークル）
- ・ 「見守り」：地域全体で子どもを育てているという気持ちを持って子どもたちを見守る、地域の人たちによる適度な見守り

【その他】

- ・ 子どもの話を聞いてあげること、「子育てしやすい区」と言われる東京の江戸川区では動物に触れる公園やいろいろな支援・助成があるらしい

教育

A：学生として、どんなことを学びたいか？

①重要なこと（取り組むべきこと）

【学習内容】

- ・ 「学習内容」：地元について学ぶ、歴史的な知識を学ぶ、加茂市で働く大人について学ぶ機会がほしい、環境問題やSDGsについて学ぶ、他国・他市町村についての学習、加茂の魅力について学んだり、実際に加茂の宝を見ることで郷土愛を育む

【学校外との連携・交流】

- ・ 「学校間の連携」：加茂の各世代（小・中・高・大）の学生の交流、高校と大学の連携により人間力アップ、大学生や大学のコーチが小・中学生の部活をサポート、小学校同士や中学校同士の交流
- ・ 「社会との交流」：職場体験を強化する、学生の地域活動参加（企業との交流）、
- ・ 「国際交流」：姉妹都市との交流をもっと行う

【情報発信】

- ・ 授業の一環として、加茂市の学校でどんなことが行われているのか YouTube など SNS を使ってアピールする

【イベント】

- ・ 学生版のワークショップを開催して加茂のことを考えてもらう、学生主導のイベントを計画して活動の場をつくる

【施設】

- ・ 「学校施設」：専門学校を増やす、小中学校の統合を行い多くの同級生がいる環境を確保する
- ・ 「その他施設」：図書館をもっと知的環境の中心として充実してほしい

【その他】

- ・ 加茂にしかない新たな教育、生徒一人一人に寄り添った教育により学びの道筋をつくる、加茂市での就職を考えた進路選択

②市民ができること

【学生への支援】

- ・ 「協力・協働」：学校の授業・イベントに対する協力、大学・高校と一緒にイベントに参加、大学生への研究などへの協力
- ・ 「体制・環境」：学生や学生のいる家庭の生活負担が少ない体制づくり、学生から変化を生み出せるような体制づくり、子どもたちが自分の意見を言いやすい環境、一人暮らしがしやすい町にする

【学生への接し方】

- ・ ネガティブなイメージで話さない、学生の意見を否定しない、学生に意見を押し付けない

B：市民として、どんな子どもたちに育ててほしいのか？

①重要なこと（取り組むべきこと）

【加茂との関わり】

- ・ 「地元愛」：地元愛のある子に育ててほしい
- ・ 「地元での就職・生活」：地元で働いてほしい、ゆくゆくは加茂市で生活してほしい、将来加茂に戻って来てほしい

【人間性教育】

- ・ 「多様性」：多様性について学んでほしい（そのために各学校の人数の偏りをなくす）、差別をなくす
- ・ 「社交性」：誰にでもやさしい人に育ててほしい、あいさつができる人

【打ち込めること】

- ・ 勉強だけでなくスポーツや文化活動など何かひとつ打ち込めることを見つけてほしい

【支援】

- ・ 「学業」：市の奨学金制度の他、企業や個人からの出資で奨学金があると良い、WEB 授業で加茂にいても他の学部の授業を受けられる体制をつくる
- ・ 「スポーツ・文化活動」：スポーツ・習い事が受けやすい環境、市外のスポーツ・文化活動に参加するときは助成金が出る
- ・ 「就職」：教育から就職に繋げる体制づくり

【その他】

- ・ 留学生が町に出る仕組み、ネット環境の整備

②市民ができること

【加茂についての教育】

- ・ 「産業」：加茂の農業について子どもに教える、地元産業の素晴らしさを伝え続ける、加茂の産業を伝える工場見学
- ・ 「歴史」：加茂の歴史を伝える
- ・ 「文化」：加茂の文化理解につながる教育

【学びの環境づくり】

- ・ 学生との交流の場づくり、セーフティスタッフの増員、家庭での IT 環境を整える

【情報発信】

- ・ ポスター・チラシ・回覧板の活用

【その他】

- ・ 学生の教育と市民の生涯教育につながる事業、加茂の企業にインターンシップできると良い、学校の行事に市民が積極的に参加する